

甲府市議会「政和こうふ」視察研修報告書

報告者 鮫田 光一

1. 日程

令和6年7月21日(日)

2. 参加者9名

興石 修	岡 正吉	山中和男	末木 咲子	小沢宏至
鮫田光一	川崎 靖	鷹野弘貴	中畠 寿	

【視察概要】静岡県静岡市

- (1) 視察日時 7月21日(日)
- (2) 視察場所 静岡市役所清水庁舎
- (3) 視察項目 『静岡市プロスポーツ等連携プロジェクト』
- (4) 対応者 静岡市観光交流文化局 局長 望月哲也 様
参与兼スポーツ交流課長 宮城島 清也 様
静岡市 静岡区役所 地域総務課長 齋藤 利光 様
- (5) 視察内容
政和こうふ 興石修代表 挨拶

静岡市観光交流文化局 参与兼スポーツ交流課長 宮城島 清也 様

より説明

『静岡市プロスポーツ等連携プロジェクト』

・静岡市の地方創生事業の取組については、移住定住の促進、大学連携、関係人口の創出、信頼される教育環境づくり、多様な人材の活躍を促進する等、「静岡暮らし」の魅力の向上と情報発信、市外からの人材を呼び込む事業や、子どもを生み育てやすいまちづくりの推進、安心して楽しく子育てができる環境の整備を推進する等、社会で力を発揮できる人材や多様な人材が活躍できる機会を充実させる事業等を推進している。また、イノベーションの創出、中小の企業振興、持続可能な生産基盤の確保、再訪を促す受入態勢づくりを推進する等、世界に誇れる価値を創造し、山から海の多彩な資源を活かし、人や地域が潤う事業や、まちづくりのDXの推進、ウォーカブルな都市空間の整備・活用、シームレスな交通環境の構築、教育DXの推進、医療・介護分野のDXの推進、地域共生・地域福祉の推進、社会基盤を活用した広域物流の推進、国内外に誇れる地域資源を活かした観光の推進、オクシズの地域

資源の保全と活用、省エネルギーの推進、防災・減災に向けた社会基盤の強化、地域連携や交流の拡大に貢献する道路整備を推進する等、活力ある地域づくりを促進し、誰もが健康で安心・安全な地域社会を形成する事業等を推進している。これまでの寄附実績としては、令和5年3月31日時点で（仮称）トライアルパーク蒲原整備事業に2,510万円、静岡市プロスポーツ等連携プロジェクトに2,000万円、中小企業支援及び高度人材活用、地域活性化事業に2,300万円、ホームタウン推進事業に2,050万円となっている。

・静岡市プロスポーツチーム等連携プロジェクトについては、静岡市では、これまで静岡市をホームタウンとするプロスポーツチーム等と連携し、スポーツを活かしたまちづくり・ひとづくりに取り組んできた。静岡市とチームだけではなく、企業や地域の方々が共通認識を持ち、“自分ごと”として共に取り組んでいただくことが、困難な課題解決につながると考えており、そのハブとなるチームの力を活かすためには、多くの方の協力が必要である。プロジェクトの流れは、市外企業が6プロチーム（男子サッカーJリーグ「清水エスパルス」、女子バスケットリーグWリーグ「シャンソンVマジック」、男子バスケットリーグBリーグ「ベルテックス静岡」、男子ラグビーリーグワン「静岡ブルーレヴズ」、男子卓球Tリーグ「静岡ジェード」、NPBファームリーグ「くふうハヤテベンチャーズ静岡」）から選択し、静岡市へ寄附をし、対象となったチームと静岡市が連携し、地方創生に資する事業へ充当する。企業のメリットとしては、CSRの推進、静岡市や地域との新たなパートナーシップの構築、新規事業への展開が期待できる。

・「静岡市プロスポーツチーム等連携事業補助金交付要綱」、「静岡市プロスポーツ等環境整備事業補助金交付要綱」の説明を受ける。

・静岡市プロスポーツチーム等連携プロジェクト実施状況については、以下の通り

R4年 収入 40,500 千円 支出 0 円

R5年 収入 91,100 千円 支出 67,701 千円

R6年 収入 5,600 千円 支出 72,500 千円

（6） 質疑応答

Q 補助金の対象となる事業とは。

A スポーツの普及に関する事業、スポーツに関わるひとづくりに関する事業、市民の健康増進に資するイベント等の開催に関する事業、シビックプライド（地域に対する誇り及び愛着）の醸成に関する事業、地域課題の解決に資する事業、地域の活性化に関する事業、他市長が必要があると認める事業です。

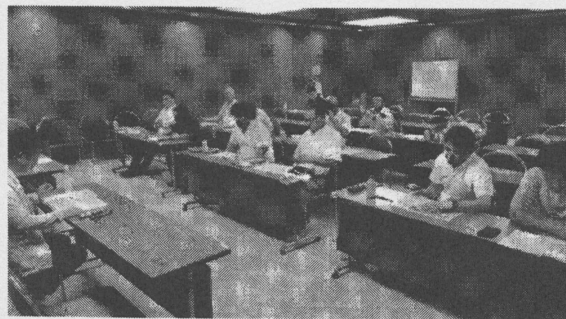
Q どのように事業のPRをしているのか

A 多くは各プロスポーツチームが市外の企業に営業をして進む場合が多い。

Q 今後の展開は

A 企業版ふるさと納税の税額控除の特別措置は令和6年までとなっている。延長されるか注視している。

お礼の言葉 政和こうふ 興石 修



以上